

育連だより

<http://web-k.jp/ikuren/>

育連理事長の就任にあたり



この度、ガールスカウト小川理事長の後任として育連理事長に就任いたしました日本ボーイスカウト川崎地区協議会長の小山新生と申します。宜しくお願ひ致します。

各育成団体の皆様には、年初からの新型コロナウイルス感染症の広がりから、感染防止対策や活動方法の変更等、大変ご苦労されていることと拝察申し上げます。

この様な時期に理事長を拝命し些か戸惑ってお

新理事長 小山 新生

りますが、関係各位の知恵とご協力のもと、将来を担う若者達にとって少しでも良い環境と活動の場を提供できるよう頑張っていきたいと思ひます。

さて、新型コロナウイルス感染はいまだに終息の兆しが見えない状況にあり、我々もウイルス有りきで対策を練って、活動する必要が有ると思ひます。

我々指導者は気持ちの上で決して負けることなく、しかし慎重に毅然として子どもたちの手本で有りたいと思ひます。

どうか厳しい折、今まで以上に皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

結索 (ロープワーク)

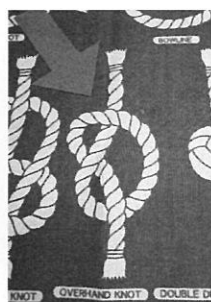
川崎海洋少年団 山岡 修

海洋少年団の基本訓練のひとつに結索 (ロープワーク) があります。ロープワークは、結ぶときは簡単に結べて、結んだ後は、緩んだり解けたりすることがなく、また解くときには簡単に解けることが特徴です。ヨットやカッターなど船舶の係留などに活用でき、レスキューや登山そして日常生活にもいろいろな場面で結索が応用できます。今回は、簡単で日常的に使える結び方をご紹介します。

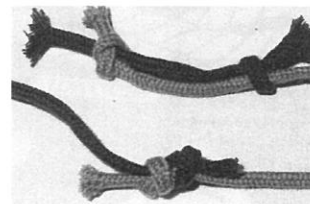
ロープで輪っかを作ってロープの端を通せば結び目一つでき、この結び方を「止め結び」といいます。止め結びの日常的な使い方として、ジャージのズボンにウエストをしぼるひもがありますが、はしっこを結んでこぶを作りひもが中に入らないように、何気なく止め結びを使っていることにお気づきでしょうか。



止め結び

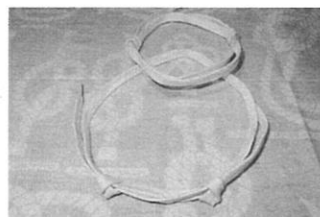


また、2つのロープにお互い止め結びをすることで、2つのロープをつなぎ合わせる事ができます。結び方の名前は「テグス結び」といいますが、釣りを楽しむ人が、釣り糸を結ぶために良く利用されています。



テグス結び

さらに、1つのロープに止め結びをして輪っかを作ります。ロープの長さを調節することができるため、輪っかに装飾をしてミサンガやブレスレットにして楽しむこともできます。



新型コロナの影響でフェイスマスクを普段から着用をしていると思ひますが、フェイスマスクの耳にかける部分も止め結びを活用し、テグス結びすると長さの調整ができて重宝するかも。お試しください。

コロナ禍でも負けない各団の活動を紹介します

ガールスカウト川崎市連絡会

【14団 バッジにチャレンジ】

自宅でチャレンジするSTAYHOMEバッジをしました。手洗いやぬりえを入れて、自分たちで考えた毎日やることのピンゴカード、シニアはオンラインで集会をしました。

- *ピンゴカードは毎日してます。ぬりえは母と頑張って二日で終わりました。早くみんなに会いたいです。(ブラウニー・佐藤綾香)
- *ぬりえは花の中を濃くしたり、時計や窓をステンドグラス風にして工夫しました。会えるのが楽しみです。(ジュニア・渡邊礼菜)



【17団 今、わたしたちにできる和を深める運動】

テンダー(年長)からレンジャーまで5部門揃って総勢36人が元気にスタートの予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大で3月から活動を停止中。九月からの再開を予定しています。今春レンジャーを卒業した4人がスカップ登録をして、リーダー資格取得を目指してくれるのは最高の喜びです。

コロナ災害の中で、人や自然との交わりを目標にするスカウト活動を、どのように進めていけるのか模索しています。主な活動場所は中原市民館です。



2019年 母の日集会

【31団 今年初めての集会で】

31団は青少年の家で、今年度初めての集会をしました。

- *始めはマッチも火も怖かったけど、できてよかったです。(ブラウニー・小松香澄)
- *見学のお友達が来てくれて、一緒に火起こしとかできて嬉しかったです。(ブラウニー・堀舞桜)
- *ステイホームの中でのみんなの過ごし方が聞けて参考になりました。次回はみんなで料理をしたいです。(ジュニア・大野未来)
- *受験勉強や習い事で活動に余り参加出来ず、次は新型コロナウイルスです。最近スカウトとしての活動が始まって来て、今まで活動して来た事のありがたみを感じています。またキャンプなどの行事ができるといいなと思っています。(シニア・武笠)
- *久々の野外活動、野外料理で少し不安な点もありましたが、限りのある材料で、とても良いものが作れました。(シニア・高野)

【40団 WITHコロナでの集会】

新しい集会の形を考え、40団は緊急事態宣言中にオンライン集会を行いました。オンライン上で近況報告をしたり、ゲームをしたりと、とても有意義な集会となりました。また、6月には中高校生を含めた全部門のスカウトが参加し、体験希望の方と一緒にマスク作り集会を行いました。みんなで一緒に作る作業はとても楽しいものでした。

今後も、スカウトの安全を第一に考え集会を行っていこうと思います。



【32団 みんな大好き・サモア】

6月に入って、やっとフライアップ式(進級式)を開催。密にならないようにブラウニー・ジュニアとシニア・レンジャーの2部に分けました。

今年最初の集会は、小枝を使ってキャンプクラフト。おやつにサモア作り。七輪を使ってマシュマロを焼き、リッツに挟んだチョコとマシュマロの溶け具合がとってもいい感じで、美味しく出来ました。

スカウト達から集会をやってほしいとのリクエストもあり、この後もその時々状況に注意しながら安全で楽しく集会ができればと思います。



【48団 テント張り】

みなさんは、キャンプに行った事がありますか。キャンプでは、テントを張る場合もあります。なので、舎営の前にテント張りの練習をしました。

わたしの張ったテントは8~10人ぐらい入れます。とくに大へんだった所は、シートを広げる事です。思っているより重かったからです。今回は、コロナのえいきょうで室内で建てたのでペグが打てなかったけど、去年、建てる人の手伝いでやった時、手をトンカチで打ちそうだった事を覚えています。

今年はコロナでキャンプに行けなかったけど、来年はキャンプに行つて建てたいと思います。

みなさんもぜひやってみてください。

(ジュニア・浦野佳希)



With コロナ 子ども会の活動

【農業体験 ジャがいも掘り】

多摩区子ども会連合会 広 沢 誠 一



新型コロナウイルス感染の拡大による緊急事態宣言が5月25日に解除され、6月15日からは学校も通常登校となり、やっと子ども達にも笑顔が戻りかけた6月21日、毎年恒例行事である「農業体験 ジャがいも掘り」を開催しました。

新型コロナウイルスの感染がやや落ち着いてきた時期とはいえ、例年だと200名からの参加者があり密集するため、今回はコロナ感染対策の「3密」を避ける対策として1回の参加者を50人以下とし時間を短縮して3回に分け、マスクの着用を徹底して「距離は取っても心は身近、子どもに寄り添う子ども会」をモットーに行ないました。

このジャがいも掘りは、15年近く続いている行事であり、子ども達が普段味わうことのできない農業体験を通じて、土に親しみ作物の大切さを学ぶことを目的として行っています。土の匂いやジャがいもがどうやってできているのか、子ども達のみならず付き添いの親たちも興味津々で毎年子ども達を楽しみにしている活動として根付いています。



ジャがいも作りは、子ども会のOB団体である「ホテルの里の畑を守る会」の皆さんのご厚意によって栽培され、今年は、男爵薯・メークイン・キタアカリに加え、皮が赤い珍しい品種のアンデスレッドが収穫され、短い時間でしたが久々の野外活動に子ども達の笑顔が弾けていました。

新型コロナウイルスの感染で、なかなか行事が行えず、子ども達も新しい生活様式になれることを余儀なくされています。このような状況の中で、如何に子ども達に笑顔でいてもらえるか「距離は取っても心は身近、子どもに寄り添う子ども会」をモットーに今後とも活動していきたいと思ひます。



【幸区JLCたんぼぼ活動中！】

幸区子ども会連合会 小 野 翔



令和2年7月17日、念願だった直接集まっの総会を実施し、ようやくジュニアリーダー（たんぼぼ）も新年度が始まりました。3月から活動はストップしていましたが、この日のため、高校生がコロナウイルス対策を考えてくれました。例年より内容を絞って時間を短くしたり、こまめに消毒や換気をしたりとたくさんの工夫をしての活動です。

参加したたんぼぼは、直接顔を合わせることの嬉しさを感じたようです。「当たり前できていたことが出来なくなっていたから新鮮だった。」と言った子もいました。長いお休みの間に、活動へのやる気やみんなに会いたい気持ちが高まっていたようです。

私は「とにかく前向き」なたんぼぼがとても好きです。今回の総会を行うにあたって「ソーシャルディスタンスを保てるようにレクリエーションをアレンジしよう。」「大きい声を出さなくても良いように、画用紙に自己紹介を書いて来よう。」等、前向きにアイデアを出して工夫してくれました。このように現状を見て「〇〇だからできない。」とマイナスに考えるのではなく「どうしたらできるだろう。」と自分たちで工夫する姿はとても素敵です。

たんぼぼでは「自分から！」を年間の目標として自分たちがやりたいと思ったことを自分たちで考えて、自分たちで準備して進めています。大人は常に指示するわけではなく、たんぼぼのサポートや見守りをしています。

「自分から！」を実現する自主的な活動の一つに「ぴかちゅう研修」があります。これは「ぴかぴかの中学生」の略称で、高校生から中学生にたんぼぼの知識技術を伝える時間です。相手に伝わるようにするためには内容を整理して、じっくり準備をします。教えてもらう中学生だけでなく、伝える側の高校生の成長にもつながっています。

これからも、自分たちで前向きに考え楽しく活動していくたんぼぼを見るのが楽しみです。



Scouting Never Stops! ～コロナに負けない～

日本ボーイスカウト川崎地区協議会

ボーイスカウトは、このコロナ禍の中、4月から活動を休止。その後、全国のボーイスカウトが「Scouting Never Stops!」を合い言葉に創意工夫で集会などを徐々に再開してきました。

川崎市には11の団が活動しておりますが、そのうちの2つの団のコロナ禍での活動を紹介します。

まだまだ、もとの活動には戻っていませんが、各団が今後も前向きに活動を展開して行ってくれることでしょう。川崎地区協議会としてもバックアップしていきたいと思えます。

● 川崎第39団 CS隊長 井上 景

高津区を中心に活動する川崎39団では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で3月から活動を中止しました。その後、4月の中旬からWeb会議システムを使ったWeb集会を定期的実施。学校が長期の休校になったこともあり、子どもたちの生活のリズム作りの意味も込めて、普段より多くの集会を実施してきました。

Web集会は家庭にいなが行われるため、家のペットの様子や家での過ごし方など、いつもとは違った話題で盛り上がりました。いつも通りには行かないものの、そのときならでの集会となりました。

通常の対面の集会は6月下旬から。あまり大規模な活動はできないものの、こどもの国でのミニハイクや秦野戸川公園での川遊び企画など、体を動かせる活動を展開。

9月下旬には、会員の募集を目的に体験イベントを実施。例年より多くの見学者の方に参加いただきました。

コロナの影響で8月のキャンプも中止となり、普段通りの活動はできない状況ですが、これまでにない発見もありました。これから徐々に活動の幅を広げ、楽しく、意義のある活動を実施していきたいと思えます。

もちろん、コロナに注意しながら…。



ミニハイキング



川遊び



力をあわせて!
クレーンゲーム



● 川崎第57団 VS隊長 境 紳 隆

中原区で活動している川崎57団のベンチャー隊（高校生年代）は、8月まで宿泊を伴う活動を自粛していた為、9月の連休（9月19日～22日）を利用して「秋季キャンプ」を実施しました。メインの活動は「1級旅行」でした。これはスカウトの「1級章」を取得する為に求められる各種技能項目をクリアした後に行う「1泊24時間以上のハイキング」で、なかなかのハードな内容です。

重い荷物を背負って川崎市内の自宅を出発。武蔵小杉駅等から電車に乗って千葉県市原市の五井駅へ。そこで小湊鉄道というローカル私鉄に乗り換えて「上総中野駅」で下車。同駅から9km程歩いて隊長指定のキャンプ場所へ到着し、そこで各自ソロテントで1泊。新型コロナに留意して、炊事も各自で行いました。



翌日は若干軽装となって、片道17kmの道のりを徒歩で「勝浦海中公園」まで行き、課題をこなして往復してくるという内容でした。

挑戦したのが高校生とはいえ、復路は雨の行程となり多少心配しましたが、参加4名元気で指定キャンプ場に帰着しました。

帰着後は、焚火を囲んで夜が更けるまで四方山話に花を咲かせていました。苦勞と共に思い出に残る活動になったことと思えます。



発行 川崎市青少年育成連盟

事務局 〒213-0001 高津区溝口1-6-10

生活文化会館（てくのかわさき）3階

TEL 044-811-2125 FAX 044-811-2126

青少年団体への加入申し込み、お問い合わせは、

川崎市青少年育成連盟事務局へ

印刷 有限会社 アキプリント社